

平成27年10月19日
東北電力株式会社
E N G I E S . A .

米国キャメロンLNGに係る長期売買契約の締結について

～ 一層柔軟なLNG取引の実現を目指して ～

東北電力株式会社（取締役社長：原田 宏哉、以下「東北電力」）とENGIE S.A.（代表者：ジェラルム・メスラレー、以下「ENGIE社」）※¹は、ENGIE社の本社があるフランス・パリにおいて、10月16日（現地時間）に米国キャメロンLNGに係る長期売買契約を締結しました。両社は、昨年5月の基本合意書の締結以降、契約の詳細について協議を進め、このたび契約締結に至ったものです。

なお、本契約はENGIE社にとって、日本の買主と締結する初めての長期売買契約となります。

東北電力は、本契約に基づき、2018年（予定）から約20年間にわたり、ENGIE社等が出資する米国キャメロンLNG液化施設において、シェールガス等を原料として生産されたLNGを、ヘンリーハブ価格※²に連動する契約価格により購入する予定です。

また、東北電力がENGIE社から購入するLNGは、主として東北電力の発電所向けに供給されますが、本契約では、その需給調整を目的にLNGの仕向地を変更する、さらには市場動向を見極め、両社の協働により第三者へ転売することも可能となっております。

両社は、本契約で合意した取引スキームおよび新たな長期的取引関係を基盤として、継続的な協力関係を築き、今後の市場環境の変化に応じて、一層柔軟なLNG取引の実現を目指してまいります。

※1：2015年7月にGDF Suez社から社名を変更。

※2：アメリカのルイジアナ州にあるヘンリーハブ（パイプラインが交差するガス集積地）のスポット価格を指し、米国天然ガスのスポット市場価格の代表的な指標。

< 売買契約の概要 >

契約締結日	2015年10月16日（現地時間）
契約期間	2018年（予定）から約20年間
年間契約数量	約27万トン
受渡条件	DES（着船渡し）

以上